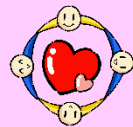


育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No.215

2025. 2. 1

新年のごあいさつ

川崎市育成会手をむすぶ親の会
会長 美和 とよみ



皆様、お元気で新年をお迎えのことと存じます。昨年も会員の皆様のご理解とご協力のもと、会の活動を続けてこられましたことに深く感謝申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

さて、お手元にチラシが届いていると思いますが、3月4日の研修会は、又村あおい氏をお迎えして「親の高齢化・子の高齢化」と題してお話していただきます。親の支援無き後の不安が少しでも解消されることを願って、住まいのあり方や福祉サービスについて教えていただきます。どなたでも参加していただけますので、お誘いあわせて、ぜひご参加ください。

令和7年1月18日（土）に高津市民館大ホールにおいて「二十歳を祝う会」が開催され、市長をはじめ、ご来賓の方々やご家族とともに“二十歳のお祝い”を行いました。特にご家族の方は、二十歳を迎えた我が子の姿に感慨深かったのではないのでしょうか。皆さんが、地域で安心して自分らしく暮らして行ける社会になるように、当会もともに考えながら活動を進めていきたいと思っています。皆様の輝ける未来と幸せを心よりお祈りいたします。

平成元年（1989年）から行われてきた障害のある方の「成人式」も、今年「令和7年二十歳を祝う会」で最後となりました。来年からはとどろきアリーナで実施される、川崎市主催の「二十歳を祝うつどい」に参加することになります。大勢での集いになりますが、障害のある方も安心して参加できるように、当会も川崎市に要望してまいります。障害があってもなくても共に暮らす共生社会の一步となることを願っています。

最後になりましたが、当会の活動は会員の皆様の要望やご意見をいただくことで、より活発な活動になります。また、研修会や余暇活動に多くの方が参加していただけるよう、それぞれの委員会が知恵を出し合っています。いろいろな事業に参加して、会の活動を支えてくださいますようよろしくお願いいたします。

ホームページ

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。



令和7年 二十歳を祝う会

1月18日(土)川崎市高津市民館(ノクティ12階)に於いて「二十歳を祝う会」が開催され、市内の支援学校、聾学校など卒業生138名の新二十歳の方が出席しました。

学校別に福田紀彦川崎市長との記念写真の撮影が行われた後、家族や付き添いの方、先生方、来賓の方々が見守る中、皆さん晴れやかな表情で式典に臨んでいました。

新二十歳呼名に続いて、来賓からそれぞれ次のような祝辞が贈られました。

福田紀彦川崎市長から「二十歳を迎えた皆さん、本日は誠におめでとうございます。そしてご家族の皆様、ここまで大切に育てられた息子さん娘さんが、無事に二十歳を迎えられて、お喜びもひとしおのことと思います。心よりお祝い申し上げます。さて、桜梅桃李(おうばいとうり)という仏教の言葉があります。桜は桜の美しさ、梅は梅の香り、桃は桃の艶やかさ、李は李の味があるということで、1つ1つ、1人1人みんな違う良さがある、そして自分らしく生きなさいという意味です。他人と自分を比べることなく、自分としてどう生きていきたいのだろうか、自分らしさとは本当は何だろうかということ二十歳という大人の入口で考えてみてはいかがでしょうか。そこから自分らしく、人と比べることなく、そんな歩をスタートしてもらえば人生がもっと豊かになるのではないかと思います。皆さんの人生に幸多きことを祈念いたします。」

続いて、青木功雄川崎市議会議長から「皆さんが持つ個性や課題を乗り越える姿は、多くの人に希望や新しい価値観を与えています。これからは皆さんの夢や希望が実現できるように挑戦を始めましょう。」

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会会長代理の小澤竜騎事務局次長「大きな夢や目標を持つことと、感謝の気持ちを持つこと。この2つを大切に。」

式典の最後には新二十歳へのエールとして洗足学園音楽大学「Yamatai Brass Ensemble」(ヤマタイ ブラス アンサンブル)による祝賀演奏がありました。金管五重奏の「銀河鉄道999」は大人への一步を踏み出す二十歳の方たちを励ます曲で、会場は高揚感に包まれました。そして拍手とともに「二十歳を祝う会」は無事閉会しました。

心身障害者のための「二十歳を祝う会」は、残念ながら今回をもって終了することになりました。今後は市で開催される「二十歳を祝うつどい」が障害者にとって参加しやすい形で開催されることを願います。



知的障がい児者・自閉症児者の 発達障がい児者の方もご加入いただけるようになりました。

生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための**病気やケガの総合補償制度**をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度

主な補償内容		
病気やケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 <small>※プランによって補償します</small>	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 <small>※プランによって補償します</small>
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 <small>(地震・噴火・津波によるケガも対象)</small>	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任補償	就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 <small>※プランによって補償します</small>

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。
特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
東京第二プロチャネル営業部
〒105-8602 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル15階
TEL: 03-5401-3660
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町3丁目17番2号
神奈川県社会福祉センター5F
TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426
http://yurisapo.jp/index_qhm.php

2024年1月現在の内容です。(D-007027 2025-03)

2025年1月1日現在の加入者は9,950名余です。2025年度「生活サポート総合補償制度」は、改定がございます。やまゆりホームページでご確認をお願いします。

二十歳を祝う会 誓いの言葉

新成人代表 小松 叶実
川田 優和

小松： 本日は私たちが新成人としての第一歩を踏み出すにあたり、このような盛大な式典を開催してくださり、ありがとうございます。

川田： 今日まで育ててくれた両親や家族、そしてご指導いただいた先輩方に、感謝いたします。

小松： これからもこの感謝の気持ちを忘れることなく、大人としての責任を持ち、成長し続けることを
小松・川田： 誓います。



新二十歳代表 新堀 明日菜

本日は、二十歳を迎えた私たちのために、このような華やかな式典を開いてくださり、誠にありがとうございます。関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

二十歳となり、仕事などを通じて今まで以上に色々な人たちとの交流が増えたように思えます。たくさんの人たちと関わっているからこそ、よりその人たちとの関係を大切にしていきたいと感じています。



両親へ、今まで大切に育ててくれてありがとうございます。

先生方へ、私の悩みに対して改善策を一緒に考えてくれたり、優しく寄り添ったりしてくれてありがとうございます。

私は現在、就労継続支援A型の事業所で働いています。主にピッキングの仕事をしていて与えられた伝票をもとに商品を集めたり、仕分けをしたりする作業をしています。始めた当初は12kgのペットボトル箱を台車に乗せるまでが難しく、苦勞しました。2年近く経った今では30kgの玄米も持てるようになりました。出荷前の検品がしやすいように、商品の順番を工夫して丁寧に積むことを意識しながら頑張っています。

最後になりますが、今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、これからは皆様に頼られる大人になることを誓います。

これで新二十歳誓いの言葉とさせていただきます。



記念品贈呈



ヤマタイ ブラス アンサンブルによる二十歳へのエール

第9回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会秋田大会

副会長 加藤 敦子

令和6年10月12日（土）～13日（日）、第9回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会秋田大会が秋田市内のあきた芸術劇場「ミルハス」で開催され、全国から1,000人を超える参加者が集いました。今回、美和会長と共に参加しましたが、当会の全国大会への参加は久しぶりでした。



初日は13時から4つの分科会と本人会があり、美和会長は第3分科会「親も本人も安心して年齢を重ねる（高齢期）」、私は第4分科会「知的障害者の権利を守る（権利擁護）」に参加しました。分科会終了後は、ミルハス隣の文化創造館前で有名な竿灯の演技を観ました。竿灯の大きさや高さ、演技の迫りに圧倒され、秋田大会に来たことを実感しました。

18時から秋田キャッスルホテルで懇親会が開催され、広い会場に多くの会員が参集しました。アトラクションでは、なまはげ太鼓や秋田民謡、チンドン屋が披露され、実物のなまはげの迫力とインパクトには驚きました。会も佳境に入ると、多くの出席者がテーブルを離れて、自分とは違う地域の会員と交流を深めている様子が見られました。

2日目は9時から昨日と同じ会場で、大会式典が開催されました。式典前には「手をつなぐ母の歌」斉唱と能登半島地震でお亡くなりになった方々への黙とうがありました。田中勉秋田県手をつなぐ育成会会長や佐々木桃子全育連会長、来賓挨拶の後、又村あおい常務理事兼事務局長の中央情勢報告とシンポジウムがありました。時間が押してしまって中央情勢報告の時間が殆どとれなかったことは残念でしたが、又村常務理事がコーディネーターを務めたシンポジウムは聴きごたえがありました。



シンポジウムのテーマは「知的障害者福祉の未来」です。独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の田中正博理事長からは、利用者の地域移行や行動障害支援等について。植草学園大学副学長の野澤和弘教授からは、意思決定支援や入所施設の課題等について。一般社団法人日本発達障害ネットワークの大塚晃副理事長からは、療育手帳の統一や成年後見制度の見直しと利用促進について。秋田大学大学院教育学研修科の藤井慶博教授からは、障害者の生涯学習推進に向けての取り組みについて。シンポジストは単独で講演会講師をされるような方々ばかりだったので、個々の話をもう少し深く聴きたかったと思いました。

最後に、育成会大会宣言決議と本人大会宣言、次期開催地である東京都の立原麻里子会長からあいさつがありました。

全国大会は北海道から沖縄まで全国の育成会会員が一堂に集うので、改めて育成会の大きさと役割を実感する機会となりました。それぞれの地域課題に対して前向きな参加者の発言や姿勢は、とても刺激になります。天候にも恵まれて、気持ちの良い充実した2日間でした。



障害基礎年金学習会

権利擁護委員会

11月13日(水) てくのかわさき2階てくのホールに於いて、障害基礎年金学習会「教えて！障害基礎年金」を行いました。障害基礎年金についての話は関心が高く、65名の参加がありました。

はじめに、全国手をつなぐ育成会連合会権利擁護センター障害基礎年金チーム作成のDVD、講演会【障害基礎年金の基本の「き」】と、座談会【社会保険労務士さんに「ここ」を聞いてみよう】を視聴していただきました。

続いて、年金申請を経験された先輩に経験談を話していただきました。参加した方々はメモを取りながら、熱心に耳を傾けていました。アンケートには、「DVD、先輩のお母様のお話はとてもわかりやすかった」「医師の診断書が非常に大切なこと、手続きについても参考になった」「障基礎年金がどんなものかイメージがついた」などの感想がありました。

この学習会が、これから申請される方々のお役に立てば幸いです。また、育成会の活動を知ってもらうきっかけになれば、なお嬉しく思います。

予想を超える参加があり、来年度も開催できたらと思っています。参加された皆様ありがとうございました。



行政関係者との研修会

災害に備える ～災害に対する情報と知識～

研修事業推進委員 森 由里

11月25日(月)川崎市総合福祉センターにて、川崎市健康福祉局危機管理担当小林和義氏より、災害に対する情報と知識についてお話していただきました。参加者は21名でした。

災害の地震・風水害などの緊急時には、適切な行動がとれるように、市のホームページや防災アプリ、防災無線などをもとに日頃から『大雨警報』『避難判断水位』『避難指示』等の気象情報の正しい意味の理解に努めると同時に、防災マップ(逃げる所などの地図です)・ハザードマップ(洪水、土砂災害、内水、津波)でそれぞれの自宅や施設の危険を確認し、適切な避難の方法を考えておくことの重要性を再認識しました。

市としては、現段階では各家庭の自助の情報整理用とのことでしたが、『個別避難計画』の作成を障害支援区分4以上の方、移動支援、同行支援、行動援護を利用している方など優先度を定めて支援者と共に作成をする取り組みを勧めているそうです。

防災で一番大切なことは災害発生時、まず自分の身は自分で守ることといわれますが、知的障害のあるわが子たちのことを考えると、どう取り組んでいけばよいのか不安は尽きません。



川崎市育成会・やまゆりとの共催研修会 ～ 親の高齢化・子の高齢化 ～

日 時 2025年3月4日(火) 10:15～12:00
場 所 てくのかわさき 2階 てくのかのホール
講 師 又村 あおい 氏 (全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長)
※ 詳しくはホームページをご覧ください。

支部通信

多摩支部 おしゃべり多摩

多摩支部長 神田 明子

10月24日(木)、12月4日(水)福祉パルたまにて開催しました。

10月は、自宅のパソコンの悩み事からいかにも怪しいメールの具体例や不審電話の話に話題が広がりました。その後川崎市内の入所施設やショートステイの利用状況についてと、川崎市に要望を出していくにあたり、子どもにとってグループホーム、入所施設、一人暮らしなど選択肢があるが、それぞれどのように考えているのか意見交換をしました。また、グループホームを希望するならどこに行けばいいのか、相談支援センターはどこがいいのかなどのお話ができました。



12月は、シェアハウス見学の報告と11月に新しくできた老人・障害者の複合入所施設の見学に行った方の感想を聞くことができました。また、受給者証の更新手続きでサービスの縮小を提案されて不安であるという話から区の福祉事務所のケースワーカーさんのことなど「ここならでは」という話もあり、あっという間に時間が過ぎていきました。

毎回参加できる方とランチに行き、家族の話や卒業した学校の話などを楽しくおしゃべりしています。



中原支部 懇親会

中原支部長 西澤 知子

10月29日(火)小雨の降る気温の低い中、福祉パルなかはら1階研修室に於いて、中原支部懇親会を開催しました。参加者は16名でした。

地福協の時代から、障害児者福祉に貢献してこられた94歳の大杉さんを囲み、往年のご苦勞を知る方々も交えて、三役と支部会員で現在の状況や悩みについて語り合いました。大先輩の方々が参加してくださると和やかな中にも気持ちが引き締まります。これからもお元気で、会の活動を見守っていただきたいと思ひます。



今後も会の活動を続けていけるよう、できることをしていきたいと思ひました。皆さんとお話をするだけでも穏やかになり、来年度も集まる機会を持ちたいです。



幸支部 懇親会

幸支部長 小坂橋 冬

11月12日(火)さいわい健康福祉プラザ1階ホールにて、幸支部懇親会を開催しました。コロナ禍に配慮して令和3年から間隔が空きましたが、役員で話し合い無事開催することができました。参加者は8名での支部懇親会になりました。

自己紹介の後も話は途切れることなく、悩みや相談事を共有しました。その中で、グループホームか入所施設か、本人に合う施設に入ることができれば、日々の生活がより良いものになると痛感しました。



私たちが抱えている悩みが少しでも軽減できて、次の世代の方の不安が少しでもなくなれば幸せなことだと思ひました。

これからも懇親会を開催したいと思ひています。

支部通信

川崎区社協福祉まつり

川崎支部長 安達 ゆかり



11月16日(土)川崎市教育文化会館にて川崎市社会福祉協議会主催「川崎市社協福祉まつり」が開催されました。支部では、当会の活動と知的・発達障害疑似体験を紹介するため、参加しました。

27名の方が疑似体験をしました。体験をされた方から、「去年、母が体験したと言っていたので、私もやってみたかった」「障害のある方と仕事をしています。こういう風に見える

るんですね」「なるほど～」「体験してよくわかりました」などの感想がありました。

午前中、ほとんど途切れず体験希望者の方が来られました。その中で、会員の方が数名、ブースに立ち寄ってくれました。お子さんたちは、それぞれ元気に生活しているようで、近況を聞くことができました。私たちの活動を応援してくれたのでうれしかったです。

この知的・発達障害疑似体験をした方が、障害に対する気持ちをお話してくださったことは、とても勉強になりました。来年はさらに多くの方が疑似体験に参加し、障害者への理解が深まることを願っています。



麻生支部 あさお語ろう会

麻生支部 熊谷 百合子

11月26日(火)「あさお語ろう会」を黒川にあるNPO法人ぶらりば運営の『カフェ・リアンで』にて開催しました。参加者は5名でした。美味しいお弁当と食後にコーヒー・シフォンケーキをいただきながら、自己紹介、近況報告、情報共有をしながらのおしゃべりは楽しく、充実の2時間でした。



初参加の方は分教室(高等部)の生徒のお母様で、すっかり大人になってしまった子どもを持つ4人の話に聞き入りながら、きっと頭の中の整理は大変だったことでしょう。

グループホーム、年金、きょうだいのこと、そして、親亡き後の心配事など、話は尽きません。いつか必ずみんなこの世を去るけど、子どもと別れる時が来るけど、元気で幸せに暮らしていきましょう。

次回は3月に行いたいと思います。

知的障害・発達障害、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「特約」「東証上記載の「重要事項の概要」をよくお読みください。不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障害のある方とそのご家族へ

ぜんちの **あんしん保険**

- ・養老日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

このようにお困り事に心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら **0120-322-150**

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの **こども傷害保険**

- ・入院・通院を日額6000
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、弁護士がサポート

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階
平日10時～16時/土日・祝日・年末年始を除く
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

2024年1月作成: 237C-0066243

ぜんち共済株式会社
関東甲信越圏・少額短期保険 第1号

「教えて！障害基礎年金」学習会

副会長 吉野 明美

10月8日（火）川崎市立中央支援学校PTA家庭教育学級の研修会に、「教えて！障害基礎年金」というテーマで、当会三役が講師として出席しました。



全国手をつなぐ育成会連合会権利擁護センターの年金チーム作成のDVDを視聴していただきました。内容は障害基礎年金とはどんなものなのか？申請するにあたり必要な準備は何か？注意することは何か？という基本的なことです。Q&Aでは、世田谷区手をつなぐ親の会の渡部伸会長が社会保険労務士として専門家の立場で質問に答えていました。DVDを視聴の後、4名の先輩保護者の受給までの体験談を聞き、質疑応答となりました。

60名もの参加者があり、スクリーンを見ながらメモを取っていました。どこか他人ごとだった障害基礎年金について、申請の体験談を聞き、参考になったようです。

参加者から「申請前に慌てないで準備できそう」という声を聞き、学習会がお役に立てたことを嬉しく思いました。

かわさきキャラバン隊10月10日講演

権利擁護副委員長 西澤 知子

10月10日（木）新城中央会館に於いて、中原区大戸第2地区民生委員児童委員定例会で、キャラバン隊講演を行いました。参加者37名でした。



はじめに、吉野副会長のあいさつと会の紹介に続いて、3つの知的・発達障害疑似体験と最後に朗読をしました。皆様が暖かく受け入れてくださり、楽しく講演ができました。

知的・発達障害疑似体験を通して、知的・発達障害について少しでも知っていただき、障害者への理解がさらに進むことを願って、活動を続けていきたいと思っています。

かわさきキャラバン隊11月13日講演

副会長 加藤 敦子

11月13日（水）かわさき地域生活支援拠点たじまの職員研修で、かわさきキャラバン隊講演を行いました。合理的配慮をテーマに34名の参加がありました。今回行った5つの疑似体験プログラムの中で、「絵にしてみましよう」が一番反響がありました。



現在はどのような場面においても、本人の意思を確認する「意思決定支援」が必要となります。しかし、知的・発達障害児者の場合、親であっても本人の意思をくみ取るのは難しいです。本人が自分の意思を示すためには、多くの体験を通して学ぶことが大切になり、そのため個々に合った合理的配慮が必要となります。今回の疑似体験がこれからの支援に繋がることを願っています。

第8回手をつなぐフェスティバル かわさきキャラバン隊参加

会計 梅田 順子

11月16日（土）とどろきアリーナで「第8回手をつなぐフェスティバル 川崎市障害者週間 記念のつどい」が開催されました。かわさきキャラバン隊も福祉体験コーナーに参加して、知的・発達障害疑似体験を行いました。



23名の方が体験してくれて、「障害のある人の困りごとがわかった」と話してくれました。

令和6年度 障害者団体部会リーダー研修（視察研修）

会計 三浦 ひろみ

10月17日(木)今年度は東名高速大井松田ICより5分の田代園でみかん狩り体験と、紙幣の印刷を担っている国立印刷局小田原工場の見学に行ってきました。



この研修は、川崎市内の障害者団体のリーダーが見学を通し、バリアフリーの現状を確認するとともに団体相互の交流を深め、本部会並びに各団体活動の活性化を図ることを目的として開催しています。

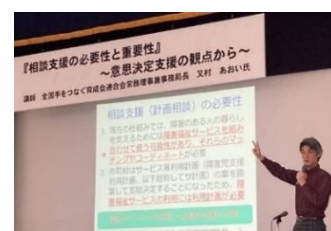
国立印刷局では業務紹介を映像で観ることから始まり、展示室ではお札の製造工程や偽造防止技術について、パネルや体験装置を使いながら楽しく学ぶことができました。続いていよいよ紙幣の製造現場へ！印刷棟へ移動して廊下からお札を印刷する現場をガラス窓越しに見学しました。大きな機械で印刷している様子は圧巻でした。

訪れたすべての施設では、トイレや移動手段もバリアフリー化の整備がされており、障害者への寄り添った声かけや対応も合理的配慮を充分に感じることができた研修会でした。

第2回やまゆり知的障害児者生活サポート協会主催研修会

副会長 加藤 敦子

12月12日(木)かながわ県民センターにて、第2回やまゆり知的障害児者生活サポート協会主催研修会が開催されました。講師は全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長の又村あおい氏、講演内容は『相談支援の必要性と重要性～意思決定支援の観点から～』です。



いわゆる「親なき後」について、「何が不安なのか？」を考えると、内容は多岐にわたり人それぞれ違いがあります。又村氏は、その「漠然とした不安」を「具体的な課題」として見える化し、「サービス等利用計画」の提案やサポートを行うのが相談支援であり、だからこそ誰にとっても重要であると話されました。今後、成年後見制度が永年のものではなくなる可能性も踏まえ、本人を長くサポートし続けるシステムが絶対的に必要であると思います。また、何かを決める過程で必要となる「本人の意思」をくみとる「意思決定支援」も、相談支援において重要となります。しかし、本人が意思を示すには、決定の基礎となる十分な体験や経験があればこそ表出・実行できると話されました。

相談支援の必要性や重要性については、多くの方が周知しているところではありますが、主に人材不足が原因で実際には行き届いていない現実があります。また、意思決定支援についても、本人や家族、支援者に十分理解されていないと感じます。いずれも、支援者のみならず、本人や家族も共に考えていく必要がある課題であると思いました。

令和6年度川崎市障害者作品展

川崎市障害者作品展、今年は12月13日(水)～17日(日)「アートガーデンかわさき」にて開催されました。この作品展は、障害の種別を問わず、市内在住・在勤・在学であれば出展することができ、絵画・写真・書・文芸・手工芸など、136点の作品が展示されていました。また創作体験のできるワークショップも開催され、見て！参加して！！楽しめる作品展です。



ご来場されたことのない方も、次回はぜひ足をお運びいただけたらと思います。どれも素晴らしい作品でした。今後も多くの作品の発表と交流の場となることを願い、次回開催を楽しみにしています。

(木村 益美)

第51回かわしんふれあい市場

10月18日(金)川崎信用金庫本店ロビー1階にて「第51回かわしんふれあい市場」が開催されました。広いロビーには、福祉施設に通う障害のある方たちが作った「ふれあい製品」が並んでいました。クッキーやラスク、コーヒー、ビーズの手作り品や藍染め品などがたくさんありました。どの製品も丁寧に作られていて「また買いに来ました」というリピーターさんと、偶然に会うことができました。



販売している皆さんの、製品や代金の受け渡しをする姿が、とても楽しそうでした。次回、令和7年5月16日(金)に開催予定です。(安達 ゆかり)

第9回ふれあいバザールみぞのくち

11月14日(木)11時から18時まで、JR武蔵溝ノ口駅改札外の南北自由通路で、福祉施設で作られる「ふれあい製品」の展示即売会が開催されました。



今年は13の施設が出店しました。クリスマスやお正月の飾りや小物、マットや織物の製品など、どれも丁寧に作られています。改札から出て来た人や通りがかりの人がお店の前で足を止め、商品を眺めて購入していました。事務局のコーナーにも並べられた小さな絵画が何点か売れました。製品とともに障害者のアートにも関心が寄せられていることを嬉しく思いました。来年も多くの人に来てほしいと思います。(小澤 千枝)

私たちの広場「勉強会」

11月10日(日)高津中学校3階多目的ホールにて「私たちの広場」勉強会を行いました。今回は「ダンス講習会」でブルームーブダンススタジオの藤川博子先生を講師にお招きし、2時間程度ヒップホップダンスを行いました。



まずストレッチ(準備運動)をしっかりと行い、その後リズム運動を行いました。リズム運動はMrs. GREEN APPLEや藤井風の曲を聴きながら行いました。身体が温まって来たところで参加者皆さんがMrs. GREEN APPLEのダンスホールを練習することに決め、最後男女で2グループに分かれ発表することになりました。曲のテンポが速かった為とても曲に合わせるのが難しい中、皆さん振り付けを覚え集中してダンスを行うことができました。

最後に、今回覚えたダンスを交互に発表し終わりとなりました。それぞれ普段より身体を動かし充実した時間を過ごせました。(支援者 数金 俊也)

障害者週間街頭キャンペーン



11月30日(土)川崎市社会福祉協議会主催「障害者週間街頭キャンペーン」が行われました。当会も川崎駅・武蔵溝ノ口駅・新百合ヶ丘駅の周辺で、団体紹介のリーフレットのチラシを折り込んだポケットティッシュを配りました。

暖かい日差しの中、人通りも多く、「障害者団体の紹介です。」「よろしくお願ひします。」と声をかけながら手渡しをして、4000個のポケットティッシュは各場所とも30分足らずで配布を終えることができました。

「障害者週間」は障害者の福祉について理解を深めるとともに、障害者がさまざまな社会活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的としています。この活動が共に生きる福祉のまちづくりの一助となることを願ひます。(小澤 千枝)

川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告

《令和6年10月22日～令和7年1月20日まで》

<各種会議、行事>

10月22日(火)	第5回運営委員会	オンライン
24日(木)	多摩支部おしゃべり多摩	福祉パルたま
29日(火)	中原支部懇親会	福祉パルなかはら
11月5日(火)	三役会議	オンライン
6日(水)	第2回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」
12日(火)	幸支部懇親会	さいわい健康福祉プラザ
13日(水)	障害者基礎年金学習会	てくのかわさきてくのホール
20日(水)	第6回運営委員会	オンライン
22日(金)	第4回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
25日(月)	行政関係者との研修会	川崎市総合福祉センター
26日(火)	第3回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
26日(火)	麻生支部あさお語ろう会	カフェ・リアン
12月2日(月)	弘済会からの寄付金受領	地域福祉施設「ちどり」
4日(水)	おしゃべり多摩	福祉パルたま
27日(金)	三役会議	オンライン
1月20日(月)	第7回運営委員会	オンライン

<対外行事>

10月25日(金)	第60回川崎市社会福祉大会	川崎市総合福祉センター
30日(水)	川崎市自立支援協議会	川崎市役所本庁舎
11月13日(水)	かわさきキャラバン隊講演	かわさき地域生活支援拠点たじま
14日(木)	あんしんセンター業務審査審議会	川崎市総合福祉センター
14日(木)	やまゆり事業推進委員会	県社会福祉センター
16日(土)	手をつなぐフェスティバル	とどろきアリーナ
18日(月)	二十歳を祝う会実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
18日(月)	NPOかわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
21日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
26日(火)	川崎市バリアフリーまちづくり連絡調整会議	川崎市役所本庁舎
28日(木)	福祉有償運送運営協議会	川崎市役所本庁舎
29日(金)	川崎市障害者作品展実行委員会	川崎市教育文化会館
30日(土)	障害者週間街頭キャンペーン	川崎駅・武蔵溝ノ口駅・新百合ヶ丘駅
12月6日(金)	二十歳を祝う会実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
12日(木)	やまゆり生活サポート協会主催研修会	かながわ県民センターホール
18日～22日	川崎市障害者作品展	アートガーデンかわさき
19日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
23日(月)	NPOかわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
1月7日(火)	川崎市新年賀詞交換会	ミュージア川崎
7日(火)	二十歳を祝う会拡大実行委員会	高津市民館
14日(火)	川崎市社会福祉協議会新年賀詞交換会	ホテルKSP
16日(木)	あんしんセンター業務審査審議会	川崎市総合福祉センター
16日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
18日(土)	二十歳を祝う会	高津市民館

寄付

(一社) 川崎市弘済会			100,000円
匿名希望	5,000円	三浦 ひろみ	5,000円
吉田 美智子	5,000円	梅田 順子	5,000円
(敬称略・順不同)			



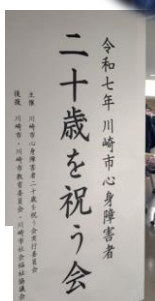
新二十歳 おめでとうございます



福田川崎市長



実行委員長
川崎市立豊学校中野校長



令和6年度川崎市障害者週間記念のつどい

11月16日(土)とどろきアリーナにて「第8回手をつなぐフェスティバル」終了後に『福祉功労者賞』市長表彰がおこなわれました。当会の加藤敦子副会長が『心身障害児者福祉功労者(育成功労者)』として表彰され、福田川崎市長から賞状を授与されました。

今までのご苦勞に感謝するとともに、今後のご活躍を祈念いたします。

編集後記

広報紙の編集に携わり、そろそろ10年になります。活動を振り返り、先輩方に教えてもらったことが、私にとって大きな財産となっています。先輩方への感謝の気持ちを忘れず、皆様に会の活動や大切な情報を読んでもらえるよう、編集していきたいと思ひます。(安達ゆかり)

【もくじ】

- P. 1・・・育成会会長新年のあいさつ
- P. 2・・・令和7年二十歳を祝う会式典/やまゆり広告
- P. 3・・・令和7年二十歳を祝う会 誓いの言葉
- P. 4・・・第9回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会秋田大会
- P. 5・・・障害基礎年金学習会/行政関係者との研修会/川崎市育成会・やまゆりとの共催研修会のお知らせ
- P. 6・・・支部通信 おしゃべり多摩/中原支部懇親会/幸支部懇親会
- P. 7・・・支部通信 川崎区社協福祉まつり・麻生支部あさお語ろう会/ぜんち共済広告
- P. 8・・・「教えて!障害基礎年金」学習会/かわさきキャラバン隊講演会/第8回手をつなぐフェスティバル かわさきキャラバン隊参加
- P. 9・・・障害者団体部会リーダー研修/第2回やまゆり知的障害児者生活サポート協会主催研修会/令和6年度川崎市障害者作品展
- P. 10・・・第51回かわしんふれあい市場/第9回ふれあいバザールみぞのくち/私たちの広場「勉強会」/障害者週間街頭キャンペーン
- P. 11・・・活動報告/寄付
- P. 12・・・二十歳を祝う会/川崎市障害者週間記念のつどい/編集後記/もくじ

編集担当
三浦ルイ子
板垣ひとみ
安達ゆかり
加藤敦子
梅田順子

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 美和 とよみ

〒213-0011 川崎市高津区久本 3-6-22 地域福祉施設「ちどり」

TEL : 044-812-2966 FAX : 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>